

令和6年能登半島地震による石仏等の被害・第3報

2024年2月13日までに確認のもの

撮影者

松井兵英(富山県富山市)

滝本やすし(石川県金沢市)

写真提供(富山県砺波市庄川町金屋岩黒の不吹堂)

砺波市教育委員会

富山県立山町宮路の弥勒塚 2月9日 松井撮影

塚上の弥勒菩薩は、以前は西向きだったが、震災後は南向きになっている。



被災前の弥勒塚



富山県舟橋村竹内の共同墓地 2月9日 滝本撮影

墓地内では古い墓標がいくつか転倒している。地蔵などの石仏も転倒散乱している。



富山県舟橋村竹内の神明社 2月9日 滝本撮影

灯籠が倒壊、崩れ落ちた部材が境内の隅に集められている。



富山県富山市水橋小出の路傍 2月9日 滝本撮影

十一面観音、不動明王、青面金剛、不動明王、閻魔の5体が納められた小堂。左端の十一面観音が後ろへ倒れかかっている。



被災前の堂内



富山県富山市大場の神明神社 2月9日 滝本撮影

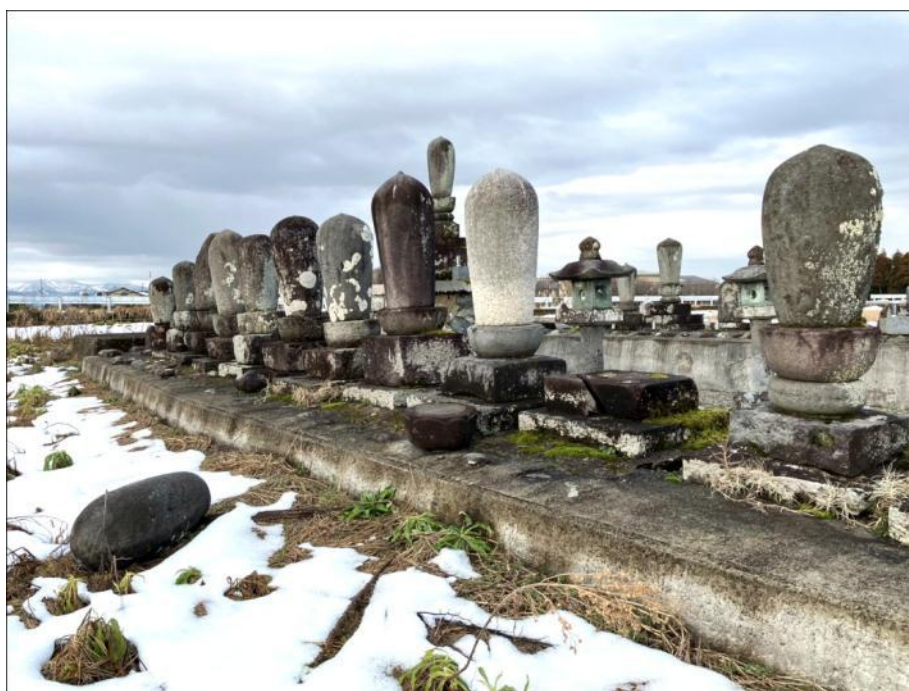
境内に建てられている「牛頭天王」石塔の石積基壇が崩壊、台石と共に傾いている。以前から少し傾いていたのだが、今回の地震によってさらに大きく傾き、倒壊の危険がある。鳥居の額束がズレている。



被災前の「牛頭天王」石塔



富山県富山市石屋の曹洞宗省山寺 2月9日 滝本撮影
歴代墓標(無縫塔)の1基が転落、他の墓標にもズレがみられる。



富山県富山市中野新町の越中白山総社 2月9日 滝本撮影

地震発生時に、鳥居の貫と額束が転落した。笠木と島木が柱の上に残っていたが、危険なので撤去され、撮影時には柱のみになっている。境内の灯籠も火袋から上が斜めにズレている。



富山県富山市四方西岩瀬の高野山真言宗海禅寺 2月9日 滝本撮影

境内の大きな五輪塔の空輪は、以前から割れており補修されていた。今回の地震によって補修部分が外れ落ちた。宝篋印塔も少し傾いているようだ。弥勒菩薩の手前の灯籠1基の竿が折れ倒壊している。



富山県富山市四方一番町(神明町)の神明宮 2月9日 滝本撮影

正面からは目立った損傷はみられないが、左へ進むと本殿を囲む玉垣が崩落している。



富山県富山市八尾町井田新の路傍 2月9日 松井撮影

越中おわら節の歌詞に歌われている「お代と彦佐の柿」の脇に建てられている法華塔(題目塔)が台石から転落している。



被災前の石塔



富山県富山市八尾町上新町の路傍 2月9日 松井撮影
石龕に納められている地蔵が、石龕と共に台座から転落している。



被災前の地蔵



富山県富山市八尾町東新町の若宮八幡社蚕養宮 2月9日 松井撮影

参道入り口の右側に「若宮八幡社」、左側に「蚕養宮」の標柱が建てられている。「蚕養宮」の標柱がズレており、手前の鳥居の左側の木鼻が落ちている。



転落した木鼻



被災前の鳥居



斜めにズレた標柱



富山県射水市橋下条の高野山真言宗薬勝寺 2月9日 滝本撮影
聖天堂前の灯籠が倒壊している。西国三十三ヶ所観音も数体が後ろへ倒れかかっている。



富山県射水市日宮の日宮社 2月9日 滝本撮影

参道右側の狛犬が転落しており、多数の灯籠が倒壊している。



富山県射水市市井の舟甲山和田川神社 2月9日 滝本撮影

倒壊した鳥居はすでに撤去され、再建が進められている。参道の灯籠は倒れたままである。



富山県砺波市庄川町金屋岩黒の不吹堂 写真提供:砺波市教育委員会 1月5日撮影

「キリーク」と刻まれた石塔が納められていた石堂。基壇から崩れ、バラバラになっている。石塔は今回の地震によって割れたのではなく、以前から2つに割れていたもので積み重ねられていた。【砺波市指定文化財】



被災前の不吹堂と「キリーク」石塔 滝本撮影



富山県南砺市福光新町の神明宮 2月9日 滝本撮影

鳥居の笠木、島木、額束が転落している。右側の楔が外れており、右の柱が内側へ傾いている。



石川県金沢市東山1丁目の高野山真言宗医王院(観音院) 2月13日 滝本撮影
六地蔵が納められた小堂で、手前の石仏は後に持ち込まれた。右端の大宜都比売神(稻荷神)
が後ろへ倒れ、地蔵が傾いている。大宜都比売神を前に起こすと、地蔵に白い傷が入っている。



石川県津幡町加賀爪の白鳥神社 2月12日 滝本撮影
社号標柱が少しズレている。4基の灯籠は全て倒壊している。



石川県内灘町西荒屋の蛭児神社 2月12日 滝本撮影

液状化現象によって境内はメチャクチャになっている。危険なので入れない。



石川県内灘町室の八幡神社 2月12日 滝本撮影

液状化現象によって境内はメチャクチャになっている。危険なので入れない。



石川県かほく市大崎の榊原神社 2月12日 滝本撮影

液状化現象によって境内はメチャクチャになっている。危険なので入れない。



石川県羽咋市寺家町の大穴持像石神社 2月11日 滝本撮影
境内右側の灯籠が倒壊している。



参道右側に地震石(像石)が祀られている。この石が地震を抑えているため、この地方には地震が起きないと伝えられている。震災後の1月21日に、地震の収束と被災地の復興を願って祈願祭が行われた。



石川県羽咋市滝谷町の日蓮宗妙成寺 2月11日 滝本撮影

境内を囲む外壁の石垣が崩落しているが、境内の諸堂や仏像等に被害はなかった。石造物の被害が多く、墓地内では多くの墓標が転倒している。



開山堂内部



大きくズレた五輪塔



宝珠が転落した笠塔婆群



被災前の開山堂内部と笠塔婆群



石川県七尾市田鶴浜町の住吉神社 2月11日 滝本撮影
鳥居や灯籠が倒壊、狛犬も台座から転落している。



石川県七尾市三引町の高野山真言宗栄春院 2月11日 滝本撮影
西国三十三ヶ所観音などが転落散乱している。境内の石塔なども倒れている。



石川県七尾市中島町笠師の曹洞宗大覚寺 2月11日 滝本撮影
鐘楼の鐘が落下している。多くの墓標や石仏が転倒散乱している。

台座から転落して首が折れた地藏



鐘が落下した鐘楼



倒壊した地藏堂



台座から転落した釈迦



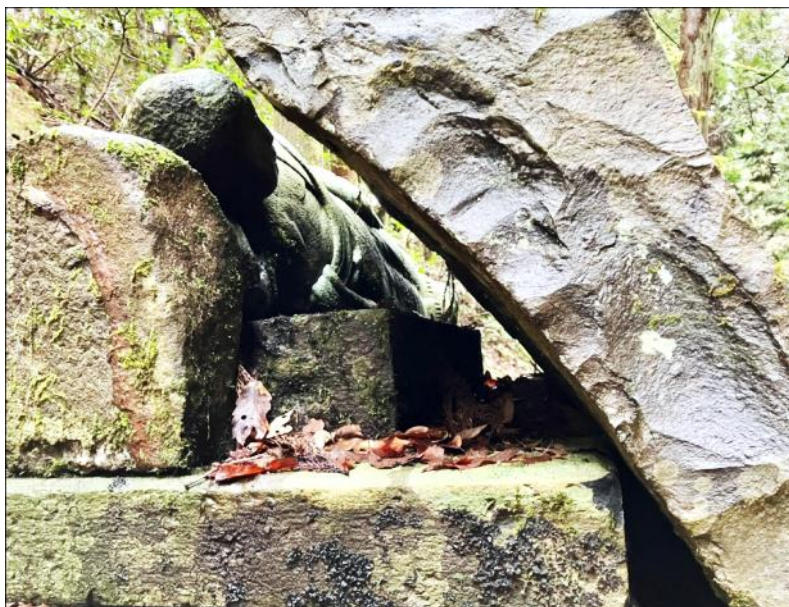
被災前の釈迦



八十八ヶ所霊場第9番涅槃釈迦の背面に立てられていた石板が手前に倒れ、釈迦の上に覆いかぶさっている。正面からは石板の裏面しか見えない。



石板が覆いかぶさった釈迦



被災前の涅槃釈迦



石川県七尾市中島町豊田の白山神社 2月11日 滝本撮影

石段途中の鳥居が崩落している。右柱の上には笠木が残っており、危険なので近づけない。



石川県志賀町代田の路傍 2月11日 滝本撮影

旧道の分かれ道に建てられていた題目塔。台座が崩壊、題目塔が転落している。

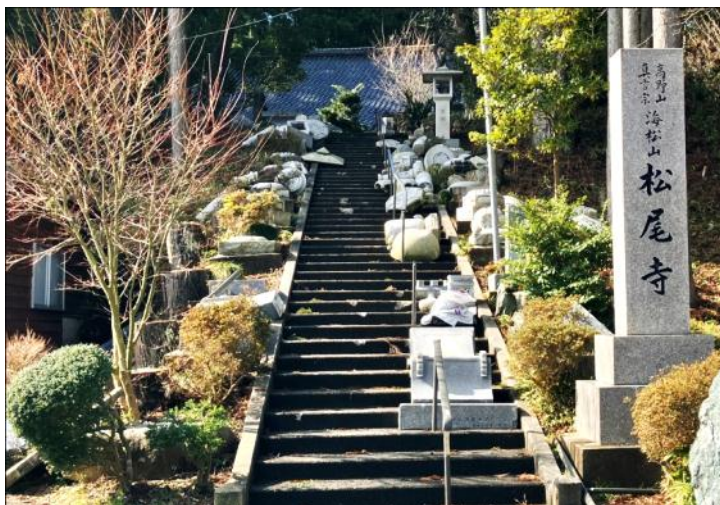


石川県志賀町豊後名の八幡神社 2月11日 滝本撮影
鳥居が倒壊。狛犬は2体共に台座から転落している。



石川県志賀町町居の高野山真言宗松尾寺 2月11日 滝本撮影

石段両脇の灯籠が全て倒壊している。地蔵堂内では地蔵が転倒、首が折れている。宝篋印塔や仁王など、境内の石造物の多くが倒壊している。



被災前の石段

被災前の宝篋印塔

被災前の阿形石像



石川県志賀町富来地頭の路傍 2月11日 滝本撮影

崖に掘られた中世の墳墓窟群。中に納められていた五輪塔や宝篋印塔が崖下に落下している。



石川県志賀町富来地頭の武部神社 2月11日 滝本撮影

鳥居の笠木、島木、額束などが転落。灯籠が倒壊、狛犬も台座から転落している。



石川県志賀町富来領家の浄土宗西光寺 2月11日 滝本撮影

山門が大きく傾き、六地蔵が転倒散乱している。地蔵堂も崩壊、地蔵が下敷きになっている。鉄芯を入れセメントで固められていた徳本名号塔も後ろへ倒れている。



石川県志賀町相神の相見神社 2月11日 滝本撮影

鳥居が倒壊、狛犬も台座から転落している。境内の中世石造物は無事。

